

成人看護学概論

ナンバリング:N2-S1-E01

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通した看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果(アウトカム)

成長発達過程における成人期の位置づけを理解した上で、成人の身体機能の変化を、「加齢による影響」「疾患・外傷による影響」「生活習慣や生活行動による影響」の三側面から捉えることができる。また、対象の健康レベルに応じた看護援助や意思決定支援について理解することができる。さらに、入退院支援における多職種連携のあり方や、医療継続が必要な対象への支援方法について考察できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

- 保健統計を概観し、成人保健の動向について説明できる。
- 成人期にある人の身体的特徴、心理・社会的特徴、および発達課題について統計学的視点から説明できる。
- 成人を対象とした健康課題に関する医療福祉政策と保健活動について説明できる。
- 対象の健康レベルに応じた看護援助について説明できる。
- 対象の権利擁護について理解し、意思決定を支える方法について説明できる。
- 入退院支援における多職種との連携のあり方について説明できる。

・授業日程

【講義】 会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/6 月 3限	<p>【授業内容】成人期にある人の理解、成人を取り巻く社会環境と生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人期の身体的特徴、心理・社会的特徴と発達課題について説明できる ・社会環境の中での成人の役割と責任について説明できる <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修：90分】講義範囲を読み、成人期の身体的、心理・社会的特徴についてまとめる</p> <p>【事後学修：90分】社会環境の中での成人の役割と責任、生活と地域社会の関係性について要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

4/13 月 4限	<p>【授業内容】成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健統計を用いて成人者の健康問題について説明できる ・保健・医療・福祉政策による健康問題への対策について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、3</p> <p>【事前学修：90分】日本の人口構成、平均寿命、死亡率(死因含む)、受療状況を調べる</p> <p>【事後学修：120分】健康づくり対策、生活習慣病対策、疾病対策(がん対策、腎疾患対策)について要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
4/15 水 1限	<p>【授業内容】健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点①(意思決定支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の権利と権利擁護の意義について説明できる ・対象の意思決定における看護師の役割について説明できる <p>【関連するSBO】4、5</p> <p>【事前学修：90分】患者の権利に関するリスボン宣言(11原則)について調べる</p> <p>【事後学修：90分】対象の意思決定を支える看護師の役割についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
5/7 木 4限	<p>【授業内容】健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点②(健康学習支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康行動への促容を促す健康学習支援について説明できる ・行動実容を支援する看護師の役割について説明できる <p>【関連するSBO】2、4、6</p> <p>【事前学修：90分】学習理論について文献やテキスト等で調べて要点をまとめる</p> <p>【事後学修：90分】行動実容を支援する看護師の役割についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
5/11 月 2限	<p>【授業内容】健康の危機状況への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機理論、危機モデルについて説明できる ・健康の危機状況にある対象および家族への支援方法を説明できる <p>【関連するSBO】4、5、6</p> <p>【事前学修：90分】危機理論について文献やテキスト等で調べて要点をまとめる</p> <p>【事後学修：90分】手術療法を必要とする対象への支援について要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
5/18 月 2限	<p>【授業内容】健康生活の継続への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己管理・生活調整への支援について理論や支援モデルを用いて説明できる ・セルフマネジメント教育について説明できる <p>【関連するSBO】4、5、6</p> <p>【事前学修：120分】慢性的病「クローンキルネス」について文献で調べて要点をまとめる</p> <p>【事後学修：90分】慢性疾患を抱える人の自己管理や生活を調整するための支援について要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
5/27 水 4限	<p>【授業内容】生活の再構築への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害をもつことでの生活への影響について説明できる ・生活の再構築への支援方法を説明できる <p>【関連するSBO】3、4、5、6</p> <p>【事前学修：120分】価値の転換理論、障害受容の段階理論について調べて要点をまとめる</p> <p>【事後学修：90分】リハビリテーションにおける看護師の役割について要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
6/10 水 2限	<p>【授業内容】地域・在宅への継続看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援における課題と具体的方法を説明できる ・入退院支援における多職種連携のあり方を説明できる <p>【関連するSBO】3、4、5、6</p> <p>【事前学修：90分】看護学概論で学修した「地域包括ケアシステム」について復習し、要点をまとめる</p> <p>【事後学修：300分】療養生活にむけた社会資源の活用についてまとめる。さらに講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健 第7版	黒江ゆり子 編	メヂカルフレンド社	2021

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験で行われる筆記試験(100%)にて評価する。
 【形成的評価】各回の講義において習得度チェック(国家試験問題等による確認テスト)を行い、学生の習得度を確認する。なお、習得度チェックについては成績に反映しない。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、2	5		20					20
3~6	1、2、4		60					60
7、8	3、6		20					20
合計		0	100	0	0	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・習得度チェックについては、講義内に解答・解説を行う。

・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次回の授業で回答する。

【その他】

・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 成人看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影